

# ヤング・オフィシャル・キャンプ 2009

報告：小田中 涼子

## 1. 講師

橋本 信雄・Petr Sudek・吉田 利治・関口 知之  
須黒 祥子・岩田 千奈美・吉田 正治・加藤 秀典  
野口 浩正・山崎 仁士・津田 博夫・安西 郷史  
山崎 人志・吉田 憲生・佐藤 誠・高橋 伸次  
平原 勇次・中江 洋美・佐々木 潤・平野 彰夫  
野村 考一・北里 博仁・西島 詠次

## 2. 総務

小林 剛樹・栗原 俊之・高橋 哲雄

## 3. 広報

貫井 義昭・和泉 淳一

## 4. 参加者

上田 真太郎(北海道)・成田 悠仁(青森県)・小田中 涼子(岩手県)  
伊庭 貴裕(宮城県)・大山 翔平(秋田県)・佐藤 学(福島県)  
荒井 秀行(茨城県)・森下 佑介(茨城県)・大山 賢史(栃木県)  
塚越 洋平(群馬県)・穂川 苑子(群馬県)・戸谷田 亜紀(埼玉県)  
眞榮 喜工(埼玉県)・鹿熊 詩織(埼玉県)・大川 尚(千葉県)  
青木 太一(神奈川県)・風間 吉則(神奈川県)・関谷 美南(山梨県)  
島袋 竹志(東京都)・鈴木 浩幸(東京都)・増田 雄(東京都)  
赤沼 裕紀(東京都)・市川 智子(東京都)・菊池 大輔(新潟県)  
千葉 真由美(富山県)・宇波 圭祐(石川県)・伊藤 諭(静岡県)  
大石 哲也(静岡県)・太田 麻須美(愛知県)・清野 未来(三重県)  
飛戸 洋美(滋賀県)・片山 雄一郎(京都府)・高岡 雄太(奈良県)  
小崎 亮介(和歌山県)・川崎 雄峰(広島県)・中野 洋平(福岡県)  
浮池 亮太(福岡県)・立石 耕一(佐賀県)・松永 雄平(長崎県)  
上原 美咲(熊本県)・佐藤 敬祐(熊本県)・小園 洋也(大分県)  
坂田 愛(宮崎県)・仲間 芳幸(沖縄県)・砂川 卓嗣(沖縄県)  
山城 力(沖縄県)

## 5. 会場

埼玉県立スポーツ研修センター  
埼玉県立上尾上尾運動公園体育館

## 6 . 日 程(時程)

### 8月14日(金)

12 : 30 ~ 13 : 00	受講者受付
13 : 30 ~ 13 : 50	開講式 1 挨拶・講師紹介 関口 知之 副部長 2 諸連絡 総務委員会
14 : 00 ~ 14 : 15	研修センターの利用説明
14 : 30 ~ 14 : 50	更衣、移動 上尾運動公園体育館へ
15 : 00 ~ 17 : 00	講義 ・実技 【上尾運動公園体育館】 外国人講師 Petr Sudek 氏による講義・実技
17 : 00 ~ 17 : 30	更衣、移動
17 : 40 ~ 18 : 55	部屋に移動・入浴・夕食
19 : 00	部長挨拶 橋本 信雄 (審判・規則部長)
19 : 10 ~ 20 : 10	講義 「ルールについて」 講 師 平野 彰夫(規則委員長)
20 : 10 ~ 20 : 40	講義 「英会話について」 講 師 佐々木 潤(国際渉外委員長)
20 : 50 ~ 21 : 30	班別ミーティング 内容 : YOC での目標・班長決め・自己紹介
21 : 30 ~ 22 : 30	入浴・就寝準備
22 : 30	消灯

## 8月15日(土)

6:30	起床
6:30~7:00	洗面・部屋掃除等
7:00~8:00	朝食・出発準備
8:00~9:00	移動・実技準備
9:00~17:00	実技 【上尾運動公園体育館】 高校生男女のモデルゲームを使用しての実技講習 試合：新座総合 vs 都駒場 主任： Petr Sudek 氏、野口 浩正氏 審判：主審 川崎 雄峰(広島) 副審 小田中 涼子(岩手)
	試合：川越南 vs 都葛西工 主任： Petr Sudek 氏、佐藤 誠 氏 審判：主審 砂川 卓嗣(沖縄) 副審 小田中 涼子(岩手)
17:00~19:00	移動・入浴・夕食
19:00~20:30	講義 講師 Petr Sudek 氏 (FIBA 講師)
20:30~	閉講式 1 部長挨拶 橋本 信雄 部長 2 講師代表講評 関口 知之 副部長 3 諸連絡 総務委員会
22:00~22:30	就寝準備
22:30	消灯

## 8月16日(日)

6:30	起床
6:30~7:00	洗面・部屋掃除・片付け(各自荷物整理)
7:00~8:00	朝食・出発準備・部屋点検
8:00~9:00	移動・実技準備
9:30~14:00	実技 【上尾運動公園体育館】

(各自帰りの交通機関に合わせて随時解散)

## 7. 感想

「YOC2009」いつの日か参加できることを願っていた研修。それが現実のこととなり、私は興奮を隠せなかった。この研修では、全国各地の同世代の日本公認審判が集まる。「自分のレベルはどのようなものか」全てを肌で感じてきたいと思い臨んだ。国内外で活躍されている講師の方々を目の前にした感激と同時に、普段以上の緊張感の中ゲームを吹いた。講師の Petr Sudek 氏から「目的を持ってその場所に行くこと」「危機感のある場所に対して体も連動させて動くこと」「コート内外におけるコミュニケーションの重要性」を意識し訓練することが必要であると教えて頂いた。選手のために、良い笛を吹くために審判の4原則を意識し、またルールに精通しなければならないことを改めて学んだ。又仲間が審判をする姿や審判に対する積極的な姿勢など大変勉強になった点が幾つもあった。

技術の向上は、その審判の人間性に左右されるということ、この審判漬けの3日間で一番感じたことである。このことは、Petr Sudek 氏が講義冒頭で教示して下さった「大志・誠実さ・努力」に表されていた。私は上級審判になる夢を持つ。しかし、まず自分がやっていくべきことは、人間として様々な勉強をして自分を磨くこと。そして目の前に与えられた一試合、一試合に真摯に取り組んでいくことであるとの研修を通して感じた。

YOCの3日間はこれからの審判活動はもとより、人生において大きな糧となる貴重な体験であった。このような機会を与えて下さった日本協会の皆様をはじめ多くの方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。